

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 児童デイサービスあさひ丸パーク

保護者数(児童数)36 回収数 31 割合86%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	2		1	ボルダリングができるのでありがたい。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	1		7		
	③	障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化が適切になされているか	26	1		4		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	31					
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	26	2		3	月ごとのイベントを実施している。	
	⑥	放課後児童クラブや児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	7	19		
保護者への説明等	⑦	利用者負担等の説明や支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	31					
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30	1				
	⑨	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31					
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	12	16	特に、希望していません。	
	⑪	子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	24	1		6		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	1		2		

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21	3	2	5	インスタグラムに載せてくれている。	
	⑭	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	29			2		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20	1	4	6		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25			6		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	30	1			お気に入りのおもちゃもあり、楽しんでいる。 安心して過ごせる居場所となっている。	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	30	1			いつも丁寧に対応してくれている。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 8年 3月 31日

事業所名 児童デイサービスあさひ丸パーク

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	2			
	②	職員の配置数は適切である	10	1			必要な配置基準内で問題ないが、お子さまの状況によっては手薄さを感じる時がある。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	2	1		お子さまの成長に伴い、トイレが狭いので支援のしづらさを感じる。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	11			PDCAサイクルを心掛け子どもたちの気になった行動、良かった点等、毎日終礼で振り返り、対策等を検討した上で、記録も残し、共有している。	
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11			保護者の方のご意見ご意向は連絡帳にも記載できるスペースを設け受け付けるとともに、職員全員に周知し業務改善につなげている。	
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	11				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		1	10		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11			定期的実施	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11			各職員から利用者ごとの現状や課題等、情報共有・意見交換し支援計画に反映している。	
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	11			年単位で見てもイベントや活動など毎年完全に同じにならないように担当者主体にチームで考えている。	
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	11			週ごとの異なる活動の実施。季節・気候に合わせての活動内容を工夫している。	
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	11			各活動担当者と児発管が連携して利用者のニーズや情報共有をするとともに各職員とも意見交換し計画書に反映している。	
	⑭	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11			各活動担当者が、当日の活動の詳細を資料等で確認しながら説明を行う。	

	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われるた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11			終礼にて行っている。記録を残し、共有している。	
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11			複写式連絡帳や個別記録を記入することを徹底している。	
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11			定期的にモニタリングを行うとともに必要に応じて適宜行っている。	
関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	11				
	⑲	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や学校、関係機関と連携した支援を行っている	11	1			
	⑳	就学前に利用していた保育所、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10	1			
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	7	1	3		
	㉒	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	2			
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	9		
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9	1	1		
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11				
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	1	9		
	保	㉗	運営規定、利用者負担等の説明や、支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	11			適宜、行っている。
㉘		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11			適宜、行っている。	
㉙		父母の会の活動をしたり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			11		ご要望があれば今後計画していきたい。

保護者への説明責任等	③⑩	子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11			迅速に対応できるように心掛けている。	
	③⑪	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の除法を子どもや保護者に発信している	10		1	インスタグラムで発信している。	
	③⑫	個人情報の取り扱いに十分注意している	11			職員に周知徹底している。	
	③⑬	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	11			気をつけて行っている。視覚支援のツールの活用など詳しく丁寧の説明を行っている。	
	③⑭	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3		8	お買い物体験は、地域の商店に協力していただき、毎年恒例のイベントになっている。	
非常時等の対応	③⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施している	11			事業所内や送迎車内等必要な場所に掲示。保護者には契約時緊急時対応マニュアルを契約時にお渡ししている。	保護者には年度ごとに緊急連絡先の確認と緊急時対応マニュアルの配布をし再確認を行う。
	③⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っている	11			定期的に行っている。	
	③⑰	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11			既往歴・服薬状況等個人基本情報の作成。職員間で対応等情報共有している。	
	③⑱	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	1	1	適宜対応している。	
	③⑲	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11			報告書として記録を残し共有、再発防止に努めている。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11			社内虐待防止委員会の設置。リーフレットの掲示、研修等を行っている。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11			必要に応じて適宜行っている。	

事業所自己評価のまとめ

事業所名 児童デイサービスあさひ丸パーク

職員による自己評価と保護者に評価の共通点

保護者評価職員評価ともに支援体制の安全性や情報共有の充実が重要であるとの意見がありました。

相違点

保護者は支援の安全性や活動内容の見え方を重視する傾向があり、職員は個別支援計画に基づく継続的・段階的な支援を重視している点に違いが見えました。

改善点と改善への取り組みを話し合った結果

今後も安心してご利用していただける体制づくりに努めるとともに、支援の意図が伝わるように発信してまいります。

貴重なご意見等

○感染症流行時のご利用調整についてご意見をいただきました。

→人員基準及び安全面を優先に判断しております。可能な限り安定した運営ができるように体制整備に努めます

○知育活動の内容についてご意見をいただきました。

→活動が同じように見えるのご意見をいただきました。個別支援計画に基づき定着を目的とした反復支援を行っています。段階的に難易度や支援量を調整しながら取り組んでおりますが、活動の内容や成長過程がより伝わるように工夫してまいります。

○送迎時間についてご意見をいただきました。

→出発時の対応に時間を要する場合があります。到着が遅れる事例がありました。

今後はより余裕を持った送迎体制の整備と早めのご連絡を徹底してまいります。

○職員体制の変化についてご意見をいただきました。

→チーム支援体制のもと情報共有と引き継ぎを徹底し、支援の質の維持を努めております。

今後も安定した体制づくりを進めてまいります。

◎今回のアンケートにご協力いただき貴重なご意見をありがとうございました。

このたび、いただいたご意見を参考に改善に努めてまいります。今後とも気になる点やご不明点等ございましたら、気兼ねなくお声掛けいただけると幸いです。

